

柳田邦男がおとなにすすめる絵本 言葉と心の危機の時代に

第2弾 27冊+4冊

『砂漠でみつけた一冊の絵本』より
柳田邦男/著 岩波書店 2004

著作者・訳者

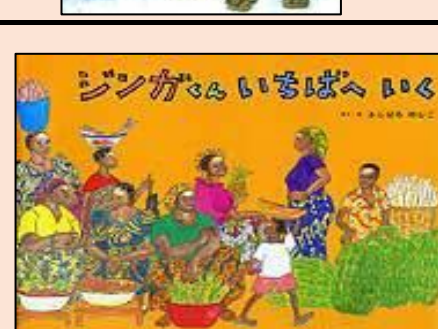
出版社
出版年
税込価格


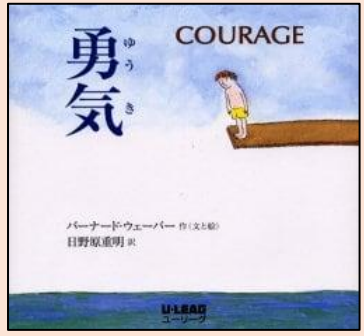

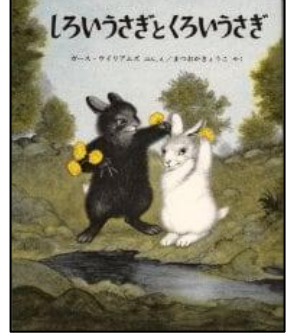
メーカーコメントほか

●想像力を再生させよう

1		かぜのでんしゃ	谷内こうた/文・絵	講談社 2003.8 1,980円	丘の上で目を閉じれば風の電車やってくる。草原をゆき、暗闇のトンネルを抜け、月夜を走る。熱望された名作絵本が、「ベストセクション」の1冊に。すがすがしい自然を「電車」で走る少年の夢。
2		だくちる だくちる はじめてのうた	阪田寛夫/文 長新太/絵 V・バレストフ/原案	福音館書店 1993.11 1,430円	昔々、イグアノドンは小さな翼竜と友達になった。翼竜のうなり声をイグアノドンは楽しく聞いた。なぜってそれは世界で初めての歌だったから。原始の世界へと想いを誘う美しい絵本。
3		おおきなかぶ	トルストイ/話 ニーム・シャーキー/絵 中井貴恵/訳	ブロンズ新社 1999.10 1,650円	イギリスの新進作家による魅力的な絵と、読み聞かせの会で活躍する中井貴恵の翻訳で、誰もが知っているあのお話が、今、よみがえります。
4		はくちょう	内田麟太郎/文 いせひでこ/絵	講談社 2003.7 1,760円	池が美しい白鳥に想いを寄せた。感動の絵本。傷ついた羽をひとり癒す白鳥に、小さな池は想いを寄せました。白鳥が飛び立ったその時……。詩人・内田麟太郎と画家・伊勢英子のコンビによる初めての絵本。
5		よるくま	酒井駒子/作・絵	偕成社 1999.10 1,100円	男の子は「よるくま」と一緒にお母さんを探しに夜の公園や、お店に出かけますが、見つかりません。「よるくま」は淋しさのあまり泣きだしてしまいます…。男の子の優しさや、母の愛情が伝わる、心温まる絵本。
*		なつのあさ	谷内こうた/文・画	至光社 1980 1,320円	誰の心にも時おりふとよぎる少年の日のひとこま。夏の朝のさわやかな匂い、白い風景、弾む自転車、汽車の音—絵本ならではの喜びがあらわれてくる。
*		スノーマン 新装版	レイモンド・ブリッグス/作・絵	評論社 2021.10 1,650円	男の子が作った雪だるまがその日の夜、急に動き出した。男の子は雪だるまを家に招き入れ…。文章がなく絵だけが描かれた作品。けれども読む人誰もがその絵の美しさに引き込まれる事でしょう。絵の持つ優しさが作品全体を印象づけます。 1998.10 初刊

●心が成長する瞬間



6		月夜のみみずく	ジェイン・ヨーレン/詩 ジョン・ショーエンハール/絵 くどうなおこ/訳	偕成社 1989.3 1,320円	月夜の雪の森で、わしみみずくに会った少女の胸の高鳴りと、大自然との交歓をみごとに描く詩の絵本。
7		ホッペル、ポツペル、 それともストツペル?	マックス・ボリガー/文 ユゼフ・ヴィルコン/絵 さくらちづる/訳	評論社 2003.9 1,430円	ホッペル、ポツペル、ストツペルは、とてもよく似た、子うさぎたち。母さんうさぎにも、見分けがつかないほど。困った母さんうさぎは、子うさぎたちを、旅に出すことにした…。子うさぎたちが、それぞれ自分らしい世界を見つけるまでのお話。
8		ジュゴンのくる海	宮里きみよ/文 ふりやかよこ/絵	新日本出版社 2001.3 1,650円	戦争が終わった年。沖縄は焼け、海人たちは、空腹のあまり、ジュゴンを食べた。海の神の使い・ジュゴン。それから、ジュゴンを見た者はいない。ウチナーの海にジュゴンが帰るのを待つおじいと少年。月明かりの海で出会ったジュゴンは—。
9		ジンガくん いちばへいく	ふしはらのじこ/作・絵	福音館書店 2002.7 1,430円	ジンガくんがおばあさんに卵を届けに市場へいくと、市場は人と家畜でこった返しています…。アフリカの大地でたくましく生きている人々の日常風景を生きいきと描いた絵本。
10		あの森へ	クレア・A・ニヴォラ/作 柳田邦男/訳	評論社 2004.6 1,650円	村はずれにある、暗くて不気味な森が、ぼくはいつも怖かった。ある日ぼくは決心した。森の本当の姿を確かめよう！ ぼくは、独りで出かけた…。勇気をふりしほって不安を乗り越え、未知の世界へ踏み込んだネズミくんが得たものは？

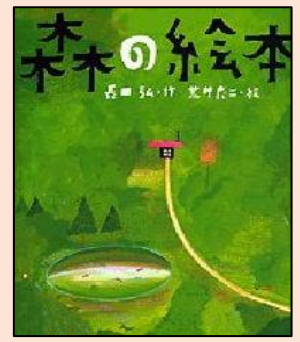

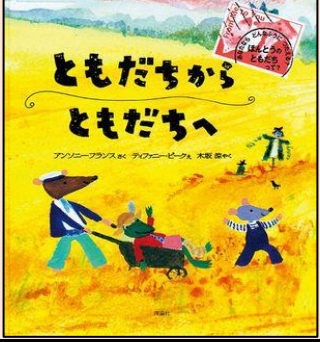
11		文字のない絵本	宮川ひろ/作 永田治子/絵	ポプラ社 2003.10 1,320円	絵本が大好きなまなみは、おばあちゃんの子どもの頃は絵本がなかったかわりに、文字のない大きな絵本を読んでいたという話を聞いて…。
12		勇気	バーナード・ウェーバー/文・絵 日野原重明/訳	ユーリーグ 2003.6 出版元倒産のため 入手不能	全米で大反響を呼んだ絵本『COURAGE』（バーナード・ウェーバー作）を、その内容に感銘を受けた日野原重明先生が翻訳。 戦争やテロ、不景気……、厳しい世の中だからこそ、子どもだけでなく、大人にも勇気をもってほしいという願いを込めて。
*		葉っぱのフレディ いのちの旅	レオ・バスカーリア/作 島田光雄/画 みらいなな/訳	童話屋 1998.10 1,650円	わたしたちはどこから来て、どこへ行くのだろう。生きるとはどういうことだろう。死とは何だろう。人は生きていくかぎりこうした問いを問いつづけます。この絵本が自分の人生を「考える」きっかけになることを祈ります。 本書は、アメリカの著名な哲学者レオ・バスカーリア博士が「いのち」について子どもたちに書いた生涯でただ一冊の絵本です。
		しろいうさぎと くろいうさぎ	ガス・ウィリアムズ/文・絵 松岡享子/訳	福音館書店 1980 1,320円	白いうさぎと黒いうさぎのやさしい愛の物語が墨絵のような濃淡でやわらかく語られます。森の情景の美しさ、こすえの葉のそよぎ、草のにおいまでが2匹のうさぎを祝福しています。

●この世界を見えますか？

13		ペドロの作文	アントニオ・スカルメタ/文 アルフォンソ・ルアーノ/絵 宇野和美/訳	アリス館 2004.3 1,430円	舞台は1970年代のチリ。軍国主義の波がひたひたと押し寄せ、ペドロの学校にも軍人がやってくる。両親は夜、どんなお話をしているか作文に書かされる。さて、3年生の少年は……。
14		はっぴいさん	荒井良二/作	偕成社 2003.9 1,430円	「はっぴいさん」は困ったことや願い事を聞いてくれるのです。「はっぴいさん」は山の上の大きな石の上に、時々来るのだそうです。「はっぴいさん、はっぴいさん、ほくらのねがいをきいてください！」「どうぞ、どうぞ……」 荒井良二が6年ぶりに発表する新作絵本。
15		世界の鳥の巣の本	鈴木まもる/著	岩崎書店 2001.8 2,420円	鳥は卵を産み、ヒナを育てるために巣をつくりまわります。鳥によって巣材も形も大きさも、みな違います。世界のさまざまな環境にすむ鳥たちの暮らしを巣との関係を絵と文で紹介する絵本図鑑。
16		ゴリラとあかいぼうし	山極寿一/作 ダヴィッド・ビシムワ/絵	福音館書店 2002.6 1,320円	アフリカ・コンゴの森の中。朝早く、きのこ摘みをした少年の一人が、自分の赤い帽子を落として行ってしまいます。さて、森に朝日がさし始め、ゴリラたちが目を覚ました。一匹の子供ゴリラがさっそく赤い帽子を見つけて頭にかぶってみます。そこにほかのゴリラたちもやってきて、帽子の取り合いが始まりました……。
17		せかいいち うつくしい ぼくの村	小林豊/作・絵	ポプラ社 1995.12 1,320円	小さなヤモは戦争にいった兄さんの代わりに市場へさくらんぼを売りに出かけます。戦争の中でも明るく力強く生きる人々を描く。 『せかいいち うつくしい村へかえる』2003.8

●心のもち方、心の向け方

18		おにいちゃんが いてよかった	細谷亮太/作 永井泰子/絵	岩崎書店 2003.9 1,430円	NHKスペシャル「こども輝け命」で大きな反響を呼んだ聖路加国際病院小児科部長細谷亮太の絵本。 お兄ちゃんの大好きなケーキを買ってきて家族で祝う誕生日。もういないけど、私はケーキをお兄ちゃんの分も切る。 兄弟を亡くした子の気持ちを温かく理解する絵本。
19		わかってほしい	MOMO/文 YUKO/絵	クレヨンハウス 2003.12 1,320円	真っ赤な背景に、クマのぬいぐるみ。「なぜ？」「なんのために産んだの？」。ページを繰るごとに、目を覆いたくなるほど痛々しい姿になっていくクマ。 親に虐待される子どもの気持ちを、真正面から描きます。
20		ライオンの へんな いちにち	あべ弘士/作	佼成出版社 2002.7 1,430円	久しぶりにひとりて出かけたライオンは、雨を待ちたくびれた動物たちに出会う。やがて雨の気配が強くなり……。 厳しい自然に對峙しながらも、ユーモアたっぷりのお父さんライオンが魅力的な絵本。

21		森の絵本	長田弘/文 荒井良二/絵	講談社 1999.8 1,540円	「森へゆこう」その声は言いました。「一番大事なものが森の中にある。君が一番大切なものがそこにある」あなたの一番大切なものを探しに行きませんか。 『空の絵本』2011.10 『水の絵本』2019.8
22		ずっとずっと だいすきだよ	ハンス・ヴィルヘルム/文・絵 久山太市/訳	評論社 1988.11 1,320円	エルフィーとぼくは、一緒に大きくなった。年月がたって、ぼくの背が伸びる一方で、愛するエルフィーは太って動作も鈍くなっていった。ある朝、目が覚めると、エルフィーが死んでいた。深い悲しみにくれないながらも、ぼくには、ひとつ、なぐさめが、あった。それは……
23		ともだちから ともだちへ	アンソニー・フランス/作 ティファニー・ピーク/絵 木坂涼/訳	理論社 2003.3 1,870円	ため息ばかりのクマネズミに、嬉しい手紙が届きます。「きみは すてきな ともだちです。きみと ともだちになれてほんとうに よかったと おもっています……」ところが、だれか書いてくれた手紙なのか、わかりません。そこでクマネズミは差出人を探しに、友だちのところへ行くのです……。

●空を見上げる心を					
24		雲のてんらん会 新装版	いせひでこ/作・絵	講談社 2004.5 1,760円	雲は毎日、空いっぱいに絵を描いている私たちが空の底で、泣いたり、笑ったりしている。空では風が吹いて、雲が絵を描きつけている……。 さまざまな雲の表情を美しく切りとった、限りなく雄大な絵本。 初刊 1998.1
25		くもくん	いとうひろし/作	ポプラ社 1998.10 1,320円	いつも空をたびしている、くもくん。いろんなかたちになってみるけれど、本当の自分のかたちは……？ 楽しい冒険ができる秘密の場所を知ってるかい？それはね、砂場だよ。さあ、みんなも砂場にいってみよう！ ダイナミックな展開で、想像力が広がる絵本。
26		緑と風の丘 北フランスからの手紙	谷内こうた/著	講談社 2003.9 3,080円	谷内こうた画文集 りんごのお酒、ハート形のチーズ、印象派の画家たちが愛した深く美しい緑。フランス・ノルマンディーに暮らして20年。絵本作家・谷内こうたから届いた季節の便り。 長年フランスに暮らす著者から届く季節ごとの便りのイラストエッセイ。映画の1シーンのような日常風景は“本物”がわかる世代の心を洗う。
27		くものこどもたち	ジョン・バーニンガム/作 谷川俊太郎/訳	ほるぷ出版 1997.4 2,200円	アルバートは、山登りの途中、がけから落ちてしまった。でも、アルバートはうんがよかった。くものこどもたちがアルバートを受けとめてくれたのだ。みんなで、くものボールで遊んだり、くものレースをしたりして楽しくすごしていたのだが……。

「今、おとなこそ絵本を」「絵本は人生に三度」は、柳田邦男先生のキャッチフレーズだ。
2022年、今あらためて『砂漠でみつけた一冊の絵本』を読みかえした。
かなりの数の絵本を手にしてきたつもりであったが、このリストの中に、手にしていない本が何冊も見つかった。
宝物を見逃していた。これはぜひ共有して、みんなの宝物にすべきだと思う。
それがこのリストを作成し、提供する動機となった。（野村邦重 2022/03/10）